

がん原性試験の試験結果、対応状況等

平成24年2月1日現在

報告年度	吸入試験		経口投与試験	
	対象化学物質名	試験結果、対応状況等	対象化学物質名	試験結果、対応状況等
昭和62	1987	四塩化炭素		
昭和63	1988		<i>m</i> -フェニレンジアミン・二塩酸塩(混水)	ラット、マウスともに発がん性なし
平成元	1989	メチルプロミド(臭化メチル)		
平成2	1990		1, 4-ジオキサン(混水)	H4指針公示、H17改正
平成3	1991	1, 2-ジクロロエタン	<i>p</i> -クロロニトロベンゼン(パラニトロクロロベンゼン)(混水)	H5指針公示、H17改正
平成4	1992	テトラクロロエチレン(パークロルエチレン)	1-クロロ-2, 4-ジニトロベンゼン(混水)	ラットの雌雄に対する発がん性示唆
平成5	1993	クロロホルム		
平成6	1994		β -クロロプロピオン酸(3-クロロプロピオン酸)(混水)	ラットの雌に対する発がん性示唆
平成7	1995	<i>p</i> -ジクロロベンゼン	酢酸ビニル(混水)	H8指針公示、H17改正
平成8	1996	1, 1, 1-トリクロロエタン	ビフェニル(混水)	H8指針公示、H17改正
平成9	1997	塩化メチル(クロロメタン)	1, 3, 5, 7-テトラアザトリシクロ(3. 3. 1. 1 ^{3, 7})デカン(ウロトロピン、ヘキサメチレンテトラミン)(混水)	マウスの雌に対する発がん性示唆
平成10	1998	メタリルクロライド(3-クロロ-2-メチル-1-プロペン)	アントラセン(混水)	H13指針公示、H17改正
平成11	1999	ジクロロメタン(二塩化メチレン)		
平成12	2000	<i>N, N</i> -ジメチルホルムアミド	グリオキサール(混水)	ラットの雌に対する発がん性の可能性を示唆するものの不確実な証拠
		2-ブテナール(クロトンアルデヒド)	ヒドラジーン水化物(混水)	H17指針公示
平成14	2002	2, 3-エポキシ-1-プロパノール(グリシドール)	キノリン(1-アザナフタレン)(混水)	H17指針公示
平成15	2003	アリルクロリド(塩化アリル)	1, 4-ジクロロ-2-ニトロベンゼン(混水)	H17指針公示
		シクロヘキセン	アクリル酸=2-ヒドロキシエチル(混水)	ラットでは、雄に対する発がん性示唆、対する発がん性の不確実な証拠。マウスに対する発がん性なし。
平成16	2004	1-ブロモ-3-クロロプロパン	<i>o</i> -フェニレンジアミン二塩酸塩(混水)	H23指針公示
平成17	2005	ノルマル-ブチル-2, 3-エポキシプロピルエーテル	<i>p</i> -ニトロアニソール(混水)(パラメトキシニトロベンゼン、1-メトキシ-4-ニトロベンゼン)	H23指針公示
		1, 2-ジクロロプロパン	2, 4-ジクロロ-1-ニトロベンゼン(混水)	H23指針公示
平成18	2006	プロピオニトリル	アセト酢酸メチル(混水)	ラット、マウスともに発がん性なし
平成19	2007	1-ブロモブタン(臭化ブチル)	オルト-クロロニトロベンゼン(1-クロロ-2-ニトロベンゼン)(混水)	H23指針公示
平成20	2008	酢酸イソプロピル	2-フェノキシエタノール(エチレンジグリコールモノフェニルエーテル)(混水)	ラット、マウスともに発がん性なし
平成21	2009	2, 4-ペンタンジオン(アセチルアセトン)	2-アミノ-4-クロロフェノール(混水)	指針追加予定物質(H23年度第5回健康障害防止措置検討会で議論の予定)
平成22	2010	アクリル酸	2-メチル-1-プロパノール(イソブタノール)(混水)	ラット、マウスともに発がん性なし
平成23	2011		2-アミノエタノール(混水)	H23年度第1回有害性評価小検討会で議論 → ラット、マウスともに発がん性なし
			ジフェニルアミン(混水)	H23年度第1回有害性評価小検討会で議論 → 引き続き議論の予定

(試験実施中の物質)

報告予定年度	吸入試験		経口投与試験	
	対象化学物質名	対応状況等	対象化学物質名	対応状況等
平成23	2011	メチルアミン		
平成24	2012	<i>N, N</i> -ジメチルアセトアミド	3-アミノフェノール	
平成25	2013	エチレンジグリコールモノエチルエーテルアセテート	4- <i>tert</i> -ブチルカテコール	
平成26	2014	メタクリル酸2, 3-エポキシプロピル	4-クロロ-2-ニトロアニリン	
平成27	2015	アクロレイン		
平成28	2016	アクリル酸メチル		